

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区西3丁目10-14
電話 (243) 0141
13年 2月 25日

人権侵害の税金滞納の取り立て止めよ！白根支部が市交渉

過酷な市民税、国保の滞納徴収に対し、白根支部は一八日高橋支部長を先頭に七名が参加して市債権管理課交渉を行いました。交渉には五十嵐市会議員が同席しました。

取引先が倒産の建築業者に 差押えで脅かし無理な納税強いる

取引先が倒産仕事がなくなり、国保料が滞納になったAさん。そこに突然「差し押さえ通知」がとどき、相談に行くと「直ぐに滞納分を入れろ、でないとは差し押さえする」と脅かされ、毎月一〇万円の納付を強引に約束させられてしまいました。仕事も前倒しで回してもらって毎日夜九時まで働いて頑張ってきました。体もくたくた、応援を頼んだ外注費の支払いも出来ない状態。Aさんは「もう限界です。話を少しも聞いてくれず。払え払えしか言わないじゃないですか」と訴え。参加者からも発言が相次ぎ、月々の支払いを半額にさせることができました。

奥さんが闘病生活の小売業者

「ごんども月一百万円の支払いは受付できない」

奥さんがガン治療で入院を繰り返して一ヶ月の治療費が数万円から多いときで八万円を超えるBさん。国保、介護保険料などで毎月一百万ずつを分割納付してきましたが集金にくる徴収係りの方から「来月から一百万では受付できません」といわれ途方にくれていました。

そこへ「市民税の滞納分二十六万円を支払え」と差し押さえ・公売の予告通対が届きました。交渉に参加したBさん、年金の支

払い月に分割納付することを認めさせ、なんとか目途が立ちました。

病氣とケガで失職！差押えの通知届く

国保料と延滞金の免除申請提出

目の病氣で障害者手帳を取得したCさん。それからは同僚から送り迎えをしてもらいながら働いていましたが、収入減少で国保料が払えなくなりました。昨年自転車で転倒しその怪我がもとで勤めを止めることになりました。そこへ債権管理課から「保険料を払へ、さもないと差し押さえをする」との通知。現在は本人と奥さんの国民年金だけが唯一の収入です。前の勤め先の親方（民商会員）も同席し、国保料の減免申請と延滞金の免除申請をしました。



あっかない相談やめてほしい

市の対応に泣き出す市民も

交渉に立ち会った高橋支部長は「本当にひどい話だ。市役所はもっと納税者の実情をわかってほしい」と訴えました。

先日八二歳のお年寄りが税金の分納相談に白根からバスに乗って一時間かけて新潟まで行き「そんなに服を着てるなら税金はらったらどうか」といわれ泣きながら白根まで帰ってきました。「もう二度と新潟にいきたくない」と涙ながらに話しています。

ある参加者は職員に「おめさんのように早口で一方的に機関銃のように話をされてはおっかなくて相談もできません」と対応の改善を求めました。

南区の区役所でも分納の相談にのってほしい 分納でなく完納が前提、市は突き放す

「なんとか南区の区役所でも分納相談を受け付けてほしい。遠くて大変だ」との申し入れには、「いいですが税金には分納は無いですよ。完納が前提です。そんな相談できるわけ無いじゃないですか？どうしても払えないなら本庁に来て相談して下さい」と、冷たい対応でした。

会員・役員主人公の申告班会に

太平支部

十二日、支部長の後藤さん宅での申告相談班会には、副会長の長崎さん（大形支部）が出席し、確定申告にどう臨むか、今年の所得と税金の計算の概略について説明しました。六名の支部会員を前に、とくに来年から国税庁が予定している「記帳の義務化」について詳しく説明し、申告する一人ひとりの自主計算がきちんとしていなると対応できなくなることを強調しました。

出席者は、営業がたいへんでも申告はしなければならぬ」「自分の申告の身について理解してなくては」と、あらためて自主計算の大切さを実感しました。



役員申告相談わかり易い!

申告書次々完成。入会対象の紹介も 料飲支部

料飲支部でも、いよいよ申告会がスタート。野上副会長も申告相談員として数ヶ所参加しています。「記帳義務化になるが、自分の身を守るためにも、それは必要なこと」と自主記帳の大切さを説いています。会場となったスナックのマスターからのカラオケリースの特殊なケースの仕訳方の質問にも解かり易く説明。

他の参加者からは、「2年前に開業して申告をしていない知り合いの同業者にも知らせないと!」と真剣に受け止めていました。また、後日マスターから「空調設備を営んでいるお客の税務相談にのって欲しい。」と野上副部長に電話が入り、早速、事務局が対応。会員による紹介の輪が広がっています。



青年部で初投げボウリング大会を開催!

「青年部の仲間でボウリングをやろう!」との声から2月17日(日)民商青年部では「初投げボウリング大会」を開催しました。

大会当日は青年部員とその家族の皆さんも参加して和気あいあいとした雰囲気の中でとても盛り上がりました。

参加者からは「ボウリングには負けたけどとっても楽しかった!その後、青年部長のお店で食べたお肉もサイコーでした。」「青年部の皆や家族みんなで一喜一憂しながらストライクやスペアが出たときは全員で喜ぶような大変盛り上がった大会でした。次回はもっと沢山の部員の仲間とやりたいです!」。などの声がたくさん聞かれました。



勝負の後で記念撮影

※次回青年部学習会は3月19日(火)「商売と経営を語る。」です。会場はハッピービーンズ・コーヒーベアさんで午後7時からです。